



Title	本研究会の活動（2019年4月～2020年3月）
Author(s)	
Citation	詞林. 2020, 67, p. 76-77
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/75584
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

本研究会の活動（2019年4月～2020年3月）

第297回 4月27日（土）

記紀に描かれた兄弟

―末子成功譚について―

川上莉奈
徐 永林

『徒然草』に描かれた「入道」について
賢木巻・野宮のわかれ再考

後藤 京

―典拠としての『うつほ物語』俊蔭巻―

第298回 6月15日（土）

『うつほ物語』における賜姓源氏について

藤原行成和歌不得手に関する文章の考察

―『枕草子』『職の御曹司の西面の立部のもとにて』段における〈歌〉を〈うたふ〉という表現について―

中村麻耶

『蜻蛉日記』上巻の長歌の考察

中山紗恵
福山美都

第299回 7月27日（土）

異類婚姻譚における『木幡狐』

―和歌素材としての異類とお伽草子―

『文集百首』における定家の詠歌方法について

―句題の一部の文字を和歌に詠まない場合に注目して―

大野暖奈
黄 夢鶴

貫之集における「すれる衣」の一側面

蒲 姢艶

第300回 9月21日（土）

光源氏論

―その「心長さ」の両義性をめぐって―

深川本狭衣物語（巻二）から本文研究を見つめなおす

後藤 京
小林理正

第301回 記念イベント

▼テーマ・院生時代とキャリア形成を振り返る

○奈良大学

○就実大学

○天理大学附属天理図書館

松本 大
瓦井裕子
宮川真弥

第302回 10月26日（土）

『万葉集』巻二・一四七番歌の解釈史―近世から現代まで―

古今集撰者時代における「六月祓」の一考察

川上莉奈
蒲 姢艶

第303回 11月23日（土）

藤原為家の「越」字用法

接続助詞「ものを」による複文化の過程について

石村小春
百瀬みのり

第303回 12月22日（土）

伝藤原家隆筆大六半切『古今和歌集』について 寺田 伝
陽明文庫本源氏物語の表現世界とその摂取歌 瓦井裕子

第304回 2月15日（土）

「荒れたる宿」表現の虚構性―平安時代前期の和歌を中心に―

百井 花

天稚御子降下条のヴァリエーション

小林理正

―鎌倉写本の狭衣物語本文小考―

第305回 3月28日（土）

大江斉光考 後藤 京

『源氏物語詞散』の紹介

松本 大

―詞としての『源氏物語』享受の一端―